非核・いしかわ

2019年4月20日　月刊第249号

〒920-0848 金沢市京町28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目

① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は70か国、批准は23か国（4月11日現在）

1面　核兵器禁止条約と南アフリカ　非暴力・非戦の現状と展望　井上英夫
3面　沖縄をめぐる現状と歴史　仲里尚実
4面　辺野古新基地をめぐる運動の現状と展望　瀬長和男
5面　歴史を刻み希望を託したCD「平和の子ら」に寄せて　西本多美子
核廃絶まで歌声よ、響け　金森俊朗
6面　石川9条おんがく隊が5・3憲法集会のリハーサル　中村昭一
6面　「核ゼロの・・・」川柳　岩原茂明
7面　独標:平成30年　春夏秋冬　島田洋子
犀川桜　小　洋
8面　シリーズ 石川の地域点描　中西　優
絵手紙コーナー　阿部智美

核兵器禁止条約と南アフリカ

非暴力・非戦の現状と展望

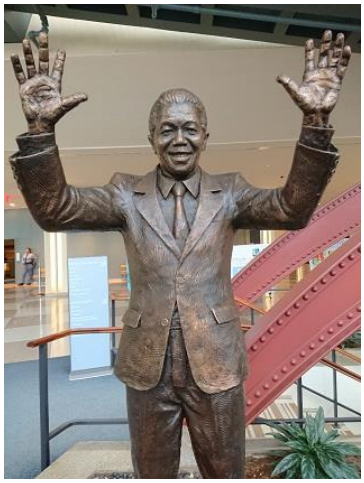
代表世話人　井上英夫

本紙一月号に、非暴力の観点から「人類の希望　マンデラと南アフリカ」という訪問記を掲載しました。今回は、NY国連ビルから非暴力・非戦とりわけ核廃絶について最近の動きをお知らせしましょう。

南アフリカが条約批准

二月二五日、南アフリカ共和国が核兵器禁止条約を批准しました。

一時は独自の核兵器開発を推し進め、その後核兵器反対に転じた唯一の国が、核のない世界に向けた重要な一歩を踏み出したのです。



国連ビルにあるマンデラ氏の立像

条約は五〇か国が批准すれば発効します。そして四月一一日、新たにパナマが批准し、二三か国となりました。

条約は二〇一七年七月七日、一二二か国によって採択されました。しかし、全核保有国とアメリカの核の傘の下にあるカナダやドイツなどNATO加盟国や日本、オーストラリア、韓国などが「不参加」でした。反対票はオランダ、棄権国はシンガポールだけでした。日本等が、反対ではなく会議に参加しないという姑息な手段をとったのは、全世界の核兵器禁止・廃絶の声に圧迫されてのことでしょう。

ちょうどこの日、私たち日本高齢期運動サポートセンターNGO代表団は一階下の会議場で高齢者人権条約制定会議に参加していました。人権保障と平和・核廃絶問題が表裏一体であることを実感でき、感動的な一日でした。そして、今日四月一七日も国連ビルでネルソン・マンデラさんの歓迎を受けながら、条約制定運動に取り組

花鳥風月

今、春爛漫桜満開、「花より団子」と言いますが和菓子には五感で楽しむ心があるようです。①視覚＝見た目の美しさ ②味覚＝おいしい ③感触＝つま楊枝などから伝わる触感 ④触覚＝舌触り ⑤臭覚＝天然素材によるほのかな香り ⑥聴覚＝煎餅などパリッという音など、和菓子には四季折々の季節感を楽しむことが古今からあります▼季節の和菓子一例を見てみますと▼一月～二月・鶯餅、春告げ鳥と言われるウグイスを象った早春の菓子や椿餅▼三月～四月・桜餅。関東は長命寺（クレープ風、関西は道明寺粉に分かれるが金沢は両方があります。彼岸のぼたもち▼五月・柏餅やちまき▼六月・水饅頭＝くず餅、くず切▼七月～八月・水羊羹。元は料理菓子として冬に食していました▼九月～一〇月・月見団子、彼岸のおはぎ、栗饅頭▼一一月～一二月・亥の子餅、餅無病息災、子孫繁栄の意味があるものや栗蒸羊羹などです▼菓子どころ金沢には昔から伝わるものに加え、職人が創作された季節感豊かな銘菓が数多くあります。「暖かいお茶をお供に季節の移ろいと、心を豊かにしたいもの」▼そんなことを想いながら犀川縁の桜並木を歩いていました。（平）

んでいます。なお、条約の推進には核兵器廃絶国際キャンペーン（ＩＣＡＮ）の貢献が大きく、二〇一七年一〇月にノーベル平和賞を受賞しました。

核兵器の廃絶

南アフリカ共和国からの教訓

前文では被爆者（核兵器使用と核実験）の容認しがたい苦難と損害に留意しています。その目的は、「核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶」であり、まさに全面的な核兵器禁止・廃絶となっています。原発は除外されていますが、別の機会に議論しましょう。

国連ビル・非暴力の象徴

ズマ前南アフリカ大統領は、二〇一七年九月の核兵器禁止条約署名式において、大量破壊兵器に安全な使用法などないという確信に基づいて、核兵器を世界、そして人類からなくすため、すべての加盟国に対して、条約批准を声高に訴えました。こうした発言を大統領ができるのも、アパルトヘイト廃止とともに、核兵器の廃棄を自主的に成し遂げた初めての国だからです。

南アフリカは、一九七三年に正式に核兵器計画を始め、一九八二年頃、最初の核爆発装置を製造します。一九八九年、この時点で五五kgの高濃縮ウランを含む核爆弾六発を所持していましたが、一九九〇年二月、最後の白人大統領デクラークが、核兵器放棄の決定をしました。それは、マンデラが刑務所から釈放され、アフリカ国民会議（ＡＮＣ）等が合法化された直後のことでした。そして、翌年一九九一年、核不拡散条約（ＮＰＴ）に加盟しました。その後、核廃絶への道を歩み、核武装国の核抑止論に立ち向かってきたのです。一九九八年の国連総会でマンデラ元大統領は次のような演説をしています。

「我々は問わなければなりません。非道で恐ろしい大量破壊兵器を拒むことなく、その正当性を主張し続ける人々には無知に聞こえるのかもしれませんが、『なぜそんなものが必要なのか』と。実際のところ、冷戦時代の惰性と自国の優位性を固持するためだけの核兵器への執着が結果的に何をもたらすのか、満足のいく形で合理的に説明することなど誰にもできないのです」。

こうして南アフリカは、二〇一二年以降、核兵器廃絶への人道的イニシアチブをとる中核的存在となりました。それが核兵器を禁止する国連条約を求める運動へと発展し、二〇一七年の核兵器禁止条約採択に繋がりました。

ＩＣＡＮも指摘するように、南アフリカは、核放棄によって核不拡散問題に関する世界的な発言力を確保したわけですが、核兵器禁止条約批准にはさらに大きな意味があり、「各国が安心して武装解除し、それを継続できるような適切な環境を作り上げることの重要性」を示しています。

(https://twitter.com/nuclearban_jp 二〇一九年二月二五日)

この点は、国連の場においても確認されています。

二〇一八年九月二四日、ニューヨークの国連本部におけるマンデラ生誕一〇〇周年を記念した「ネルソン・マンデラ平和サミット」における政治宣言は、次のように国家、政府の長、代表の決意を語っています。

（1）ネルソン・マンデラ氏の謙遜・寛容・慈悲の資質、彼の価値観及び慈悲の献身に敬意を表す。（2）公正、平和、豊かで、包摂的かつ公平な世界を構築するための努力を倍増すること及び相互尊重、寛容、理解及び和解を示すことにコミットする。（3）紛争は予防外交よりもあらゆる面において損失が大きいという議論の余地のない事実を認識する。（4）紛争予防、根本原因への対処、法の支配の強化を通じて、「平和の持続」への包括的アプローチの重要性を強調する。（5）核兵器計画を一方的に廃棄した南アフリカが示した例を歓迎し、核兵器廃絶を支持したネルソン・マンデラ氏の確固たる願いを想起する。

マンデラとオバマ

二人の黒人大統領

オバマとマンデラ、二人とも自国で史上初の黒人大統領に就任しています。バラク・オバマ前米大統領は二〇一八年七月一七日、南アフリカ・ヨハネスブルクでの生誕一〇〇年記念講演で世界の人々とりわけ若者に呼びかけました。

希望を失わないこと、信じ続けるこ

と、前進し続けること、築き続けること、声を上げ続けること。世代は皆それぞれ世界を刷新する機会が与えられている、と。

「マンデラ氏は、若者たちが目覚めれば、圧制の塔を打ち倒し自由の旗を掲げる力があると言った」とオバマは指摘し、「今こそ目覚めるときだ」と講演を聞いている若者たちに「情熱を燃やす」よう呼びかけたのです。

最後に、マンデラの言葉をもう一つ紹介しておきましょう。

「もし、あなたが敵と平和を築きたいのであれば、あなたはその敵と一緒に話し合わなければいけません。それから、敵はあなたのパートナーとなることでしょう。」

日本国憲法の前文も、日本国民が、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすること」と「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと」決意したこと、そして「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ平和のうちに生存する権利」すなわち平和的生存権を有することを確認しています。日本国憲法と南アフリカ、そして「非核の政府を求める会」は、非暴力と国家による暴力の否定＝非戦、人間観を共有しているのです。

今こそ、南アフリカの経験を活かし、日本国憲法を世界に広め、核兵器禁止条約を批准し、核廃絶へリーダーシップを発揮するよう安倍政権に迫る、「非核の政府を求める会」の役割はますます大きいと思います。

非核の政府を求める石川の会第31回総会　ご案内

○日　時　　2019年6月2日（日）10：00～12：00

○会　場　　金沢市文化ホール　３階第５会議室（金沢市高岡町）

○第１部　　記念講演「日米安全保障体制と日米地位協定」

講師　　五十嵐正博（本会代表世話人・神戸大学名誉教授）

○第２部　　総会議事

（注）今年の総会に個人会員会費の改定と永年会員制度の新設を提案します。

①個人会員会費の改定：印刷・発送費の負担増のため1,500円 ⇒ 2,000円

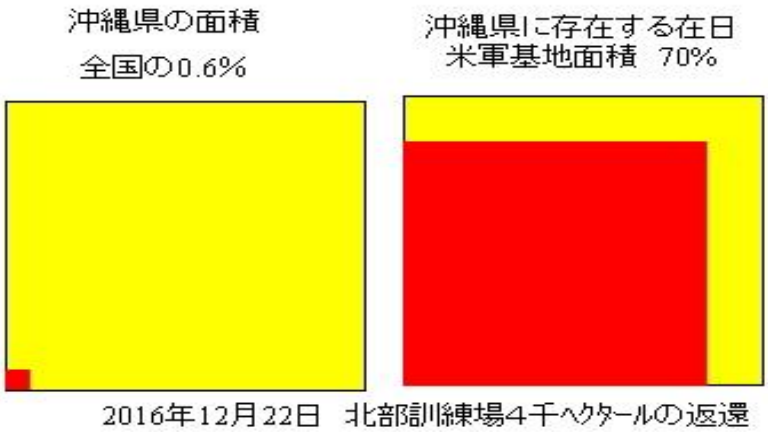
②永年会員制度：80歳以上の会員は申請にもとづき、会費納入を免除します。

◇講演要旨◇

沖縄をめぐる現状と歴史を知る

―― 医師と運動最前線の立場から――

三月二四日（日）午前一〇時からホテル金沢において「沖縄をめぐる現状と歴史を知る」と題し、仲里尚実先生（沖縄県保険医協会会長）と瀬長和男さん（沖縄県統一連事務局長）のお二人を講師としてお招きし、石川県保険医協会総会記念講演を開催した。参加者数は八〇人であった。

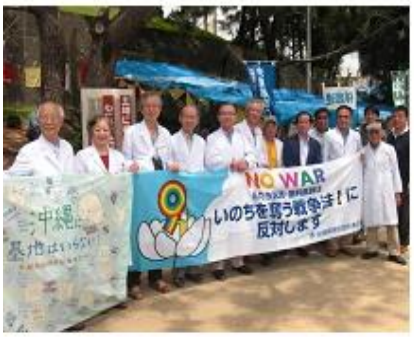


沖縄をめぐる課題と歴史

講師の仲里尚実さん

石川県保険医協会では二〇一七年一一月に有志による辺野古見学ツアーを実施したが、その際に今回の講師のお二人とお会いした。仲里先生の講演は、第二次大戦前の沖縄の歴史から説明が始まった。大戦で沖縄は日本国の捨て石にされ、米軍に侵略される一方、日本軍からも虐殺や集団自決をさせられ大変な犠牲を強いられた。戦後も、本土各地にあった米軍基地が住民闘争（内灘闘争を含む）によって基地を持続させることができなくなると、米軍の施政権下にあった沖縄に集められた。その結果、今の沖縄本島の一八・四%が米軍基地となったのだが、全国のわずか〇・六%しかない小さな

県土に、全国の米軍基地の七〇%が存在するという極めて歪な構造が出来上がってしまった。



一方、戦後の沖縄の日常でも基地があるが故に起こる様々な問題が繰り返されてきた。殺人、強盗、強姦、交通事故、航空機墜落、騒音、多数の不発弾処理など挙げればきりがないほどで、平和で安全に人間らしく生きる権利が侵害されてきたのだ。

速報　琉球新報　9月30日(日)
新知事に玉城氏
辺野古
承認撤回

辺野古新基地をめぐる運動の現状と展望

講師の瀬長和男さん

瀬長和男さんは辺野古の新基地建設に反対する運動を進める責任者の一人であり、一昨年公開された映画「米軍が最も恐れた男～その名はカメジロー」の主人公である故瀬長亀次郎（元衆議院議員）さんのお孫さんである。

瀬長さんからは、二〇一〇年の名護市長選の勝利とその後の翁長雄志知事の誕生、現在の玉城デニー知事の誕生など、保守系と革新系が力を合わせた「オール沖縄」のたたかいについて、また、青年層のSNS（ソーシャルネットワークサービス）を使った新しい運動の拡がりについて報告していただいた。辺野古で展開される反対運動は、「座り込み」といった徹底した非暴力のたたかいであり、それを二〇〇四年に始めてから毎日続けているというのは物凄いことだと思う。

「金は一年 土地は万年」のむしろ旗を掲げた闘い

政府は日米安全保障条約を盾にして、沖縄の民意を聞こうとしない態度を続けているが、米国への忖度は度が過ぎはしないだろうか？　瀬長さんの最後のスライドには、「米軍基地の集中する沖縄だが、日本が真の独立国となれば、沖縄問題は解決する」と記されていた。これは正に沖縄だけの問題ではなく日本全体の問題、私たち一人ひとりに突き付けられた問題なのだと改めて考えさせられた。質疑応答でも様々な意見が出され、予定していた二時間が瞬く間に過ぎ、大変有意義な講演会となった。

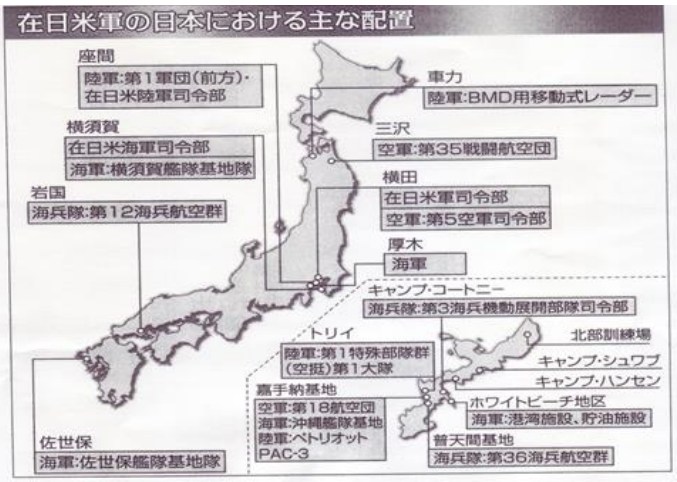
（保険医協会理事　齊藤典才）

◆米軍基地が経済発展の最大の阻害要因

◆アイデンティティーに基づくオール沖縄建白書実現をめざす

◆子や孫の世代に禍根を残すことのない責任ある行動こそが求められる

◆党利党略ではなく最大公約数、腹六分目、腹八分目で集まっている



CD「平和の子ら」制作委員会(2)

歴史を刻み希望を託した CD「平和の子ら」に寄せて

石川県原爆被災者友の会
会長　西本多美子

一九四五年八月六日広島・続いて九日長崎に人類史上初めての原子爆弾が投下され、二つの街は消滅しました。二〇数万人の市民が理由もなく殺傷されました。あの日生き延びた者も放射線の影響で苦しみ続けています。こんな残虐非道なことが許されていいはずがありません。

一九九八年八月九日、長年の念願だった原爆碑「平和の子ら」ブロンズ像を金沢市卯辰山に建立することができました。除幕式には県内から多くの被爆者がかけつけ、除幕の綱を引きました。頭上に鶴を掲げた男女児のブロンズ像は、朝日を浴びて光り輝いていました。

CDブックレット（B6判、32頁）の表紙より

「この像に歌が欲しい！」と「でえげっさあ」の方に歌作りをお願いしましたら、何と翌年〝反核・平和おりづる市民のつどい〟で「平和の子ら」の歌がお披露目されたのです。被爆者の心が深く表現された歌詞。明るい軽快なテンポの曲。何と素敵な歌なんでしょう。感動で涙がこぼれました。

♪私たちはもう長くはないからと♪
♪歴史を刻み希望を託した・・・♪

この歌の通り、像を完成させたとき、一八四人いた県内被爆者が二〇年後の現在、七六人になってしまいました。残された時間が短い。この歌を後世に残したい！あちこちの学校で歌われているこの歌をCDにして広めたい！CDを全ての学校に寄付したい！心からの願いです。

CDレーベルの「平和の子ら」文字は金森俊朗氏

核廃絶まで歌声よ、響け

いしかわ県民教育文化センター
理事長　金森俊朗

このCDを手に取ったあなたが、子どもたちにこの「平和の子ら」を紹介し、共に高らかに歌いあげることを切に望んでいます。この「平和の子ら」とは、まずこのCDを広げることを企画した代表者。西本多美子さんです。そして西本さんと同じように石川県原爆被災者友の会の中心的存在として長年活動してきた岩佐幹三さん（現日本原水爆被害者団体協議会顧問）です。

このお二人を中心に県内の反核平和の運動を牽引し「平和の子ら」を卯辰山に建立してきた人々が第二代の「平和の子ら」でしょう。初代はまさしく佐々木禎子さんと像の建立に取り組んだ全国の中学生たちです。その第二代の「平和の子ら」が朗読劇「この子たちの夏」、さらに梅原司平さんの「折り鶴」などの演劇・観劇・鑑賞運動や合唱に参加した人々でしょう。

そうするとこれから歌う今の子どもたちは、第四代になります。第二代の多くが亡くなりつつある中で「もう長くはないからと歴史を刻み、希望を託した」子どもたちです。この三代四代が核兵器禁止条約を批准し、核兵器の廃絶を担う人々です。歌いあげ、それをきっかけに被爆者一人ひとりの証言を直に聞くことができる最後の「平和の子ら」です。核廃絶まで歌声よ、響け!!

・・・・・・・・・・・・・

◎音楽CD「平和の子ら」は六月に完成予定で、県内全ての小学校（二〇八校）に寄贈し、平和教育に役立ててもらうことを期待しています。

石川発、反核・平和の願い

CD「平和の子ら」制作・普及にご協力を！

制作協力金（1口2000円）はCD制作費と石川県内の全ての小学校に寄贈する費用に充てられます。また、1口につき1枚のCDを協力者に贈呈します。

CD「平和の子ら」制作委員会
代表　金森俊朗・西本多美子
連絡先／09023748784 川崎正美

非核・平和のひろば

石川9条おんがく隊が五・三憲法集会のリハーサル

中村昭一

憲法記念日に開かれる平和憲法施行七二周年記念石川県民集会。そのオープニング行事に〝石川9条おんがく隊〟が出演することになり、四月一三日に金沢市民芸術村にて公開リハーサルが行われ、出演予定者や裏方など約五〇人が約三時間、熱心に練習と打ち合わせを行いました。

内容は、紙芝居部による「まんまるまんまたんたかたん」、バンド部による「あの日の授業」、シャンソン歌手による「一本の鉛筆」、合唱部による「ヒロシマの有る国で」、全員による「平和の道」。司会はお爺さんと孫に扮し、ウィットとユーモアに富んだ進行となりそうです。

今年の憲法集会は、安倍九条改憲のヤマ場の前となるため殊のほか重要であり、その高まる緊張感が参加者にも感じられるリハーサルとなりました。

本番は、観客が着席する前の時間帯であり困難な条件下ですが、熱演は聴衆を惹きつけることでしょう。集会参加の皆さんのご声援を宜しくお願いします。

（石川9条おんがく隊代表）

「平和の道」を振り付け入りで全員合唱します

「一本の鉛筆」を歌い上げる長谷川密さん

紙芝居を披露する安原昭二さん

平和憲法施行72周年記念・石川県民集会

日　時　5月3日（金・休日）13：00／開場・受付　14：00／開会
13：30～　オープニング企画／石川9条おんがく隊
（紙芝居・シャンソン・バンド演奏・合唱）
14:00～　記念講演　「沖縄と憲法～沖縄からみた安倍政権」
講師　普久原 均さん（琉球新報社編集局長）
16：30～　パレード（会場―広坂―片町―竪町広場）

会　場　金沢歌劇座大ホール（金沢市下本多町）　参加費 500円

主　催　安倍改憲NO！市民アクション・いしかわ

連絡先　石川県社会法律センター　電話076－231－2110

非核石川の会リレーエッセー

「核ゼロの・・」川柳

岩原茂明

全日本川柳協会が、それこそ日本全国から句を募集した「平成柳多留第二一集」の一次選者として、私は約二六七〇句のさまざまな句から二一三句を選んだ。

その中で、私が選んだ秀句三句のひとつが

「核ゼロの世界見るまで生きてやる岩佐ダン吉」

その決意。

実は私も廃炉まで、脱原発の行動に参加しているから共感した。

選者には、もちろんこの句を吐いた方がどなたかわからなかったのだが、岩佐ダン吉の実に若々しい句ではなかろうか。

しかもこの句は第二次選者たちによって、日本青少年育成協会会長賞を受賞されている。

ここに川柳界のかつて保守的だった潮流と核ゼロを一貫して主張してきた潮流とが、ともに手を携えている姿が如実にあらわれている。

そう思い、紹介させていただいた。

詩人会議かなざわ「独標」より

平成三十年　春夏秋冬

島田洋子

正月明けしんしんと降る雪に
三月までのスケジュールをメモ帳に
記す
如月に入ると降り積もる雪、雪
翌日　翌々日　そして四日は猛吹雪
よもすがらあきず本当によく降ること
ああ―もう白い雪に恐怖さえ覚えた
あの時
あれほど待った桜の花も
一日目二日目その後、風のように
散りさってしまった春でした
梅雨らしい雨もなく　季節感のない
まま
降り出したら止まる事無き
各地で豪雨、又豪雨
七月猛暑が続く中　友人からメール
が届き
「どうしてる―元気している―暑い
ネェ」
「本当に暑い　何とか生命つないで
います―」
落ち着く間もなく押し寄せる自然災
害
日常生活が突然失われゆく現実が
もう人事ではなくなった
人間の強さと弱さ無力さを知った平
成三十年
遅咲きのアサガオが色鮮やかに
次々と花を咲かせた十月
年が明けると、新元号に変ります
春夏秋冬、自然の中で
花や緑に心を寄せて、少しでも
穏やかに過ごせる事を祈ります

犀川桜

小　洋

犀川の河川敷に桜の木々が植えられ
ている
冬の間は静かなそれは春に一面咲き
誇り
人々を楽しませている
その桜が描かれた一枚の絵がある
春、快晴の日を描いたであろうそれ
は、
幼き日の記憶と共にいつでも私に勇
気をくれる
今からでも遅くない、
頑張れ、と背中を押してくれる
それは、今、病と戦う人々に
勇気と希望を与えてくれている事で
しょう。
今　迷っているあなたの前にも
その桜が届きますように。

【トピックス】

◆核兵器禁止条約の批准国は

核兵器禁止条約の批准国は、パナマが四月一一日に国連事務総長に批准書を寄託し、二三か国になりました。

◆日本の原子力発電所の現状

再稼働九基、設置変更許可六基、新規制基準審査中一二基、未申請九基、廃炉二四基

（二〇一九年三月一五日現在）

編集室から

◎会報「非核・いしかわ」は次号で二五〇号発刊になります。本会編集部では、この記念企画として二〇一号から二五〇号までの「会員リレーエッセー」とコラム欄「花鳥風月」を小冊子にまとめて、六月発行の予定です。同書には代表世話人の二〇一九年年頭所感や論稿、会報に掲載した絵手紙五〇枚も全て掲載します。読者参加による機関紙づくりとして二〇一二年二月号から開始した「会員リレーエッセー」は、シリーズ掲載が続いており、現在八年目に入っています。引き続き、会員各位のご支援をお願いします。（か）

◎テレビや新聞で、連日「平成最後の〇〇」の見出しが踊る。これが五月になれば、「令和最初の〇〇」が連呼される。これに迎合すると今号が「平成最後の」非核・いしかわであり、次号は「令和最初の」非核・いしかわとなるわけだ。

読者諸氏にとって、平成はどのような時代だっただろう。初期にはソ連崩壊、バブル崩壊など国内外情勢の動乱。終期には核兵器禁止条約をはじめとした新たな運動の成果も生まれたが、この時代もやがて、歴史として次世代の人々へ語り継がれる。さて、あなたはその時、平成をどんな時代だったと答える？

結果的に平成の日本は、大きな戦争・紛争とは縁のない平和のうちに終わる。だが、これは継続しなければ何の意味もなさない。平成だけではなく、平成以降、恒久的な平和国家を造ることが戦争の被害者であり加害者でもある日本の進むべき道ではないだろうか。平成が〝戦後〟になるか、〝戦前〟になるか、令和が岐路になる。（O）

シリーズ石川の地域点描 32

フォトグラファー　中西　優

浅野川沿いの主計町茶屋街

夜桜が美しい金沢城

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班　阿部　智美

四月に入り、街が色であふれる季節となりました。上旬の桜をはじめ、下旬からはツツジやフジなども見られるようになります。

四月と言えば新たな門出の季節でもあります。ご入学や進学、新たな職場での出発と節目を迎えた方も多いのではないでしょうか？

心機一転頑張っていきましょう。

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内　容	会場
4	27	土	13:30	おーぷんはうす30周年記念講演会と「不登校を体験した若者」トーク 不登校の子どもが「救われたと思った対応」とは/石井志昂さん	金沢市西念・金沢勤労者プラザ
5	1	水	9:30	第90回メーデー石川県中央集会	金沢市広坂・いしかわ四高記念公園
	3	金/休	13:30	平和憲法施行72周年記念石川県民集会 記念講演「沖縄と憲法―沖縄からみた安倍政権」普久原均さん	金沢市下本多町・金沢市歌劇座大ホール
	4日(土)～10日(金)			原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」を描いた ドキュメンタリー映画「誰がために憲法はある」上映時刻は10時から	金沢市香林坊・シネモンド
	9	木	12:30	核兵器廃絶6・9署名行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	11	土	15:00	医療・福祉問題研究会例会／田中純一さん	金沢市高岡町・松ヶ枝福祉会館1階
	12	日	14:30	NPO法人未来塾・大人の学び講演会／古賀茂明さん	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	15	水	12:50	第91回怒りの昼デモ	金沢市広坂・四校記念公園教育会館前口
	20日(月)～22日(水)			沖縄支援ツアー・瀬亀次郎長記念館・嘉手納基地・キャンプシュワブ・ 大浦湾グラスボートで視察・高江・現地の方の案内とヒアリング	詳細・連絡先　090－2121－9741
	25	土	14:20	きょうされん石川支部・映画会「夜明け前」	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	26	日	13:30	石川県社会保障推進協議会・総会記念講演／二宮厚美さん	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階集会室
	29	水	12:50	第92回怒りの昼デモ	金沢市広坂・いしかわ四高記念公園教育会館前口
6	1	土	8:30	むぎわらぼうし志賀原発ツアー「志賀原発の過去・今・未来」	詳細・連絡先　090－1312－3513
	2	**日**	**10:00**	**非核の政府を求める石川の会第31回総会・記念講演／五十嵐正博さん**	**金沢市高岡町・金沢市文化ホール3 階**
	9	日	10:00	2019年石川県母親大会　講演「地球温暖化―今すべきこと」尹与田昌慶さん	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	9	日	10:00	2019年原水爆禁止国民平和大行進(能登コース)スタート	9日：輪島市、珠洲市 ～ 14日：内灘町
	15	土	11:30	2019年原水爆禁止国民平和大行進(富山ー広島コース)富山から引継ぐ	15日：津幡町 ～ 24日：加賀市／福井に引き継ぐ

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日 18：30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デ― 12：00

＊会報サポート会員を募集中です。年間購読料 1,500円(総会で変更予定)　郵便振替口座 №00760-0-15689